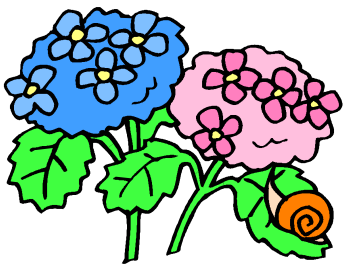




松本市図書館だより

平成26年6月1日発行 第15号

編集・発行 松本市図書館
〒390-0861
松本市蟻ヶ崎 2-4-40
電話/0263(32)0099



図書館職員のオススメ本

6月に入り、梅雨の季節がやってきました。せっかくの休日でも雨が降っていると、外に出かけるのも嫌になってしまいますよね……。そんな日は家でマッタリと本を読むにかぎります!! 松本市図書館ではお一人様10冊まで本を借りることができます。たくさん借りて、梅雨を有意義に過ごしませんか?



『季節の記憶』

保坂 和志/著 講談社
【Fホサ】

父と息子、近所に暮らす兄弟、彼らの何気ない日常を、鎌倉を舞台に瑞々しく描いた作品。大きな変化はないけれど、毎日はいつもし新しい。潮の香りと濃い緑の匂いがしてきそうな、ゆったりとした雰囲気の中、たまに交じる哲学めいた鋭い言葉の数々。これからの季節、ぜひお家でゆっくりと味わっていただきたい一冊です。

『おみやげと鉄道』

鈴木 勇一郎/著 講談社
【689ス】

お土産の概念から歴史、戦後・現代のお土産の様相で構成されています。お土産の配り方から、赤福の誕生と伊勢参宮、坊ちゃんはどこで団子を食べたのか、新幹線が発展させた「ひよ子」など、お土産の紹介や各地の土産事情など多彩な内容で読みやすく楽しい本です。



『カタツムリが食べる音』

エリザベス・トーヴァ・ベイリー/著 飛鳥新社 【484へ】

原因不明の難病で寝たきり状態になってしまった著者。絶望的な気分の彼女を救ったのは、偶然やってきたカタツムリでした。いつも落ち着いて、ゆったりと動くカタツムリのリズムと、健康な人間の活動リズムについていけなくなってしまった彼女のリズムとがシンクロし、それが心の休息となったのです。もし病気になるなければ気にも留めなかった小さな生き物との、不思議な絆を感じさせるノンフィクションです。



『日本建築集中講義』

藤森 照信、山口 晃/著 淡交社
【521フ】

建築家藤森照信(茅野市出身)と画家山口晃が日本各地にある伝統建築を見学し、その魅力について真面目に時にはユーモアに語り合います。藤森先生による専門的でときどき辛口な解説、山口画伯が描いた見学の様子のゆるさ漂う漫画にそれぞれの個性が炸裂! 寺社仏閣や茶室、洋館など幅広い内容で、国宝城郭として松本城も登場します。



『おやすみおやすみ』

シャーロット・ゾロトウ/文、ウラジーミル・ボプリ/絵、ふしみ みさを/訳 岩波書店 【E2】

クマ、ハト、サカナ、ガ、アザラシ、こねこ…。いろいろな動物がねむるようすを、やさしい言葉と美しい絵で語りかけます。暗い色の下地に灰色の文字で文章が書かれ、絵も暗い色がベースに描かれているので、静かな気持ちで読み進められます。小さいお子さんから大人まで楽しめる、夜にぴったりの絵本です。

『モテる技術 入門編』

デイビッド・コーブランド、ロン・ルイス/著 SBクリエイティブ 【152コ】

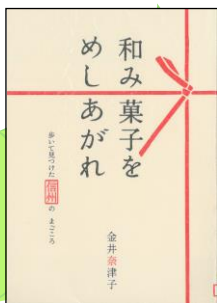
「モテる男になりたい…」と思うのは世の男性の願いではないでしょうか。こちらの本には、その方法を教える活動をしている著者が考える、のぞむままに女性を手に入れるノウハウが詰まっています。が、欧米目線で描かれているので思わずツッコミたくなるシーンも多々あり。ご自身のスタイルに合わせてご利用ください。「実践編」もあります。



『和み菓子をめしあがれ』

金井 奈津子/著 信濃毎日新聞社
【596カ】

長野県内にある菓子店をピックアップして、作り手の思いを丁寧に紹介しています。松本市・開運堂の真味糖をはじめ、上田市・喜八のどら焼き、安曇野市・蔵久のかりんとう…。まごころ込もった菓子はどれも美味しそうで、掲載されているお店に足を運んでみたいくなる一冊です。



『コンパニオンプランツで失敗しらずのコンテナ菜園』

竹内孝功/著 家の光協会 【626タ】
安曇野市在住で自給自足生活を実践している著者が、ミニトマトとバジル、ナスとパセリなど、コンパニオンプランツを使ったコンテナでの栽培方法をわかりやすく解説しています。一緒に栽培すると相性もよく、病虫害を予防し農薬や肥料の使用を抑えることのできるコンパニオンプランツによる野菜作りにチャレンジしてみたいかがでしょう。

ラジオ出演しています



『FMまつもと』は平成25年12月25日に開局された地元密着のコミュニティFM放送です。毎月1回出演させていただき、各館の紹介、オススメ本の紹介、予約ランキングの紹介など、旬な情報をお届けする予定です。是非、聴いてみてください!!

出演番組: 『まつもと日和』(月-木 12:00~13:30) チャンネル: 79.1MHz
今月の放送 6月4日(水) 13:00~ (生放送)

※放送日等変更になる可能性もあるのでご了承ください



図書館と私

〔松本市図書館協議会委員の皆さんによるコラムです。〕

図書館協議会委員
森山 昌子

歳を経て、自由な時間が増えて趣味に没頭できるようになりました。その中でも読書は一人でどこでも楽しめ、やさしい静かな感情をもたらしてくれます。これまでも難しい局面に立った時や、悲しみに打ちひしがれた時、読書で救われました。本を好きになった事で、電車や病院の待ち時間も苦にならず、いそいそと文庫本を取り出し読み耽っています。そんな私になくってはならないのが図書館です。松本の図書館は充実していて、まさに宝の山。小説、エッセイ、紀行文、俳句、詩、手芸、料理、CD、DVD など。各地域の分館は、それぞれに特徴があり図書館めぐりも楽しめます。私は「森の図書館」「山の図書館」「空の図書館」などと名付け、足を伸ばしています。手元には常に 10 冊借りてあり、読み終えない時はパソコンから貸出延長をしています。自宅にいな

がら手続きができ、これは本当に便利です。本のおかげ、図書館のおかげで豊かな時間を持つことができました。老眼で目はショボショボですが、今日も胸をワクワクさせて、新しい本を開いています。

予約本ベスト5

平成26年4月15日～
平成26年5月15日受付

一般書

- 1位 『豆の上で眠る』
湊 かなえ／著、新潮社
- 2位 『村上海賊の娘 下巻』
和田 竜／著、新潮社
- 3位 『村上海賊の娘 上巻』
和田 竜／著、新潮社
- 4位 『ケモノの城』
誉田 哲也／著、双葉社
- 5位 『満願』
米澤 穂信／著、新潮社

児童書

- 1位 『サンドイッチサンドイッチ』(大型絵本)
小西 英子／さく、福音館書店
- 2位 『ピヨピヨはじめてのキャンプ』
工藤 ノリコ／著、佼成出版社
『魔女カフェのしあわせメニュー』
あんびる やすこ／作・絵、ポプラ社
- 4位 『おしりたんてい プブッ
ちいさなしょちょうのだいピンチ!?!』
トルロ／さく・え、ポプラ社
『おべんとうバス』(大型絵本)
真珠 まりこ／作・絵、チャイルド本社
『怪盗クイーンと魔界の陰陽師
バースディパーティ 後編』
はやみね かおる／作、講談社 ほか

図書館に聞いてみよう!

【今月の事例】

昔あった学校の校歌や寮歌を知りたい。

Q. 旧制松本高等学校の寮歌として、島崎藤村の「初恋」に曲をつけたものが歌われたようだ。その事実と楽譜が記載されている資料を見たい。

A. ア. 『唄のふるさと』

(信濃毎日新聞社：1994)

イ. 『われらの青春ここにありき』

(松本高等学校同窓会：1978)

問い合わせから『松本高等学校寮歌集』を確認したが記載されておらず、信州の唄をキーワードに検索。

ア) 大仲寅二作曲のメロディ譜を確認。藤村記念館の落成式で歌われ、その後も落成記念日に歌い継がれているとの記載がありました。

他に、松本高等学校や旧制松本などのキーワードで資料を検索。

イ) 田中惇(寮歌「遠征」も作曲した旧制松本高等学校生)作曲のメロディ譜を確認。寮生には愛唱されていたが、公表されたということは聞かないとの記載がありました。

図書館には、調べ物のお手伝いをするサービスがあります。本についての問い合わせ以外にも、身近な疑問についてもお調べしていますので、お気軽にご利用ください。

編集後記

田植えも終わり、夜になるとゲコゲコというカエルの鳴き声が聞こえるようになりました。その音を聞くと安心するのは私だけでしょうか。日本には美しい四季の移り変わりがあります。ゆったり本を読みながらその変化を感じてみるのはいかがでしょうか。

